

感動を呼び起こす！ 鬼才によるヘンデルとバッハ

エリン ヘルヤード

チェンバロ リサイタル

Erin Helyard Harpsichord Recital

オーストラリアで今最も魅力的なソリストと評されるエリン・ヘルヤードによる感動的なチェンバロ演奏

指揮ではバロックオペラの新しい魅力の新定番をつくりあげた鬼才、

第33回国際古楽コンクール（2020年5月1日～3日甲府）の審査員として初来日！

2020 **5.8** (金)

17:00 開演・16:30 開場

茨木市市民総合センターセンターホール

〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)内

TEL: 072-625-3055

自由席 2月27日(木) 発売開始

3,000円(当日3,500円)

学生1,500円(当日2,000円) ※就学前のお子様はご遠慮下さい

チケット: (公財)茨木市文化振興財団: 072-625-3055(9:00～17:00)

クリエイトセンター1階チケットカウンター(9:00～17:00)

福祉文化会館3階チケットカウンター(9:00～17:00)

インターネットチケット <https://www.ibabun.jp/>

お問合せ オワソリール会: 072-633-7276(井岡)

主催/オワソリール会 共催/(公財)茨木市文化振興財団

ヘンデル シャコンヌ ト長調 HWV 435

バッハ トッカータ ホ短調 BWV 914

ヘンデル 組曲第5番 ホ長調 調子の良い鍛冶屋変奏曲

バッハ フランス組曲 第5番 ト長調 BWV 816

バッハ プレリュード フーガ&アレグロ 変ホ長調 BWV 998

ヘンデル 組曲 ヘ長調 HWV 427

バッハ トッカータ ニ長調 HWV 912

マスタークラスのお知らせ 受講15,000円 聴講3,000円

*マルタン・ジェステール 4月16日(日)(木) PM1:00～

(チェンバロ、フォルテピアノ、歌、アンサンブル)

*エリン・ヘルヤード (チェンバロ) 5月7日(木) AM10:00～

場所 お問い合わせ/オワソリール会(井岡) ☎567-0897 大阪府茨木市主原町10-22

Tel 072-633-7276 info@loiseau-lyre.com <http://www.loiseau-lyre.com> 詳細はお問い合わせください

エリン・ヘルヤード *Erin Helyard* 略歴

オーストラリアの鬼才エリン・ヘルヤードは、創造力にあふれ鼓舞し感動を呼び起こす指揮者、表現力豊かなチェンバロとフォルテピアノの名手として、また音楽学的研究と演奏実戦の間の談話を促進することに熱心で、明快にわかりやすく聴衆に語りかける学者として高く評価されています。歴史に忘れ去られた17世紀と18世紀のオペラの復活のために、楽譜や文献とパフォーマンス両面から研究することに情熱を傾けています。シドニーの有名なピンチガットオペラとアンティポデーズ管弦楽団の芸術監督および共同創立者として、オーストラリアで歴史に基づいたパフォーマンスの卓越した新しい基準を築きました。ブロードウェイでのトニー賞やロンドンでのオリヴィエ賞のように、彼の指揮の下に3年連続でヘルプマン賞Helpmann Awardの（最優秀オペラ賞）を、アデレードフェスティバルにおけるヘンデルのオラトリオ「サウル」で同じく（最優秀音楽監督賞）を受賞しました。最近ライムライト誌で「オーストラリアで最も魅力的なソリスト」と評されています。

シドニー音楽大学ハープシコード演奏科を一等賞と大学賞を得て卒業、カナダのモントリオールのマギル大学シュリッチ音楽校でフォルテピアノ演奏の修士号と音楽学の博士号を取得。その後2009～2010年にはアメリカのコネル大学でフォルテピアノの演奏家として修業を積み、カナダのアンサンブルCapriceの主要メンバーとして活躍しました。現在、メルボルン音楽大学上級講師。

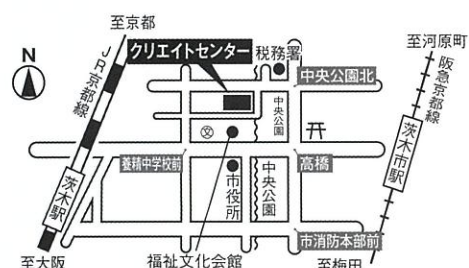
リサイタルに寄せて／エリン・ヘルヤード

ヘンデルとバッハは、同じ1685年にわずか120 km離れた町で生まれました。それぞれがお互いを高く評価していましたが、生涯彼らは会うことができませんでした。どちらも非常に尊敬されている鍵盤楽器奏者であり、どちらも老年期に失明しました。このリサイタルでは、私たちがよく知る2人の偉大な作曲家と鍵盤楽器奏者の対比と類似性を探ります。ヘンデルはイタリアの音楽とオペラハウスの色に強く影響を受け、バッハは対位法と質感の洗練に深く触発されました。これらの曲はピアノ曲としても有名です。茨木でリサイタルができることを楽しみにしています。

オワゾリール会

1981年より教師、親たちが中心となり、門下生達と共に、『子供達に生の素晴らしい音楽を聴かせたい、大人も子供も音楽を楽しんでいただきたい』との願いから、演奏会を開催してまいりました。ドイツ国立フライブルク音楽大学教授を長年勤め、全ドイツピアノ指導者協会会長でもあったビヒト＝アクセンフェルト女史は、オワゾリール会について、「親が音楽の力を通して子供の成長と幸せを願ってコンサートを開催しているこのような会は世界中にはない、私は心から応援します」と自ら使命感を持ち、お世話する人たちに常に感謝の心を持って、毎年演奏して下さいました。まだまだ茨木で本格的な演奏会が開催される事がとても少ない時期で、遠路東京や福岡等からもご来場下さる方々がありました。女史は、2001年に亡くなられ、本当に残念な事にあの素晴らしい詩情にあふれた気品ある演奏を聴くことが出来なくなりました。その後、親達も仕事等で、共に運営する為の人手が少なくなり、大勢のお客様を迎えての演奏会を開催するのは止まっていました。「茨木にはこのような珍しい初期鍵盤楽器が沢山あるのに、聴く機会がない、子供達にも聴かせたい、是非やって下さい」とご要望をいただいて、オワゾリール会らしい演奏会は？と模索してアットホームな雰囲気こそ贅沢と言えるかもしれないと考え、2008年よりオワゾリールハウスで10回のシリーズ「チェンバロ事始め・世界の旅」で、毎回楽器が変わり、時代とともにチェンバロ音楽が盛んな国も音楽の趣味も変わって行くその違いも楽しんでいただけるようにお話と演奏の会を開催致しました。研究発表演奏会の折りに一般の方のため【チェンバロにふれてみよう】というコーナーを設け、公開でチェンバロ演奏体験とレッスンを行いました。既に音楽専門の大学を卒業し、音楽教師として活躍しつつ演奏活動をしている人達も、有志で「インヴェンツィオ」演奏会を企画し開催しているものもあります。この度、茨木市文化振興財団の共催をいただき、甲府で開催される国際古楽コンクールの審査員として初来日のエリン・ヘルヤード氏の演奏会を開催できる事を楽しみにしています。

音楽を通して、私たちは、もっともっと音楽の楽しさ、素晴らしさを広めて行きたいと願っています。



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩12分